

令和6年度事業報告書

I. 事業の状況

1. 放送文化に関する創作活動を行う個人または団体に対する顕彰

(1号事業/32,280千円)

- (1) 放送文化に関する創作活動を行う個人または団体に対する顕彰については、以下の9件の個人・団体(番組)に対して「第33回橋田賞」として顕彰することとし、正賞として時計、副賞として賞金各1,000千円の助成を実施した。また本年度は橋田先生の生誕100年に当たるため、生誕百年特別賞を設け、正賞として時計、副賞として賞金1,000千円の助成を実施した。野村昭子賞は正賞として時計、副賞として賞金1,000千円の助成を実施した。

橋田賞	連続テレビ小説「虎に翼」	(NHK)
橋田賞	「カンブリア宮殿」	(テレビ東京)
橋田賞	宮藤 官九郎	(脚本家/くどう かんくろう)
橋田賞	阿部 サダヲ	(俳優/あべ さだお)
橋田賞	伊藤 沙莉	(俳優/いとう さいり)
橋田賞	池上 彰	(ジャーナリスト/いけがみ あきら)
橋田賞新人賞	河合 優実	(俳優/かわい ゆうみ)
橋田賞新人賞	奈 緒	(俳優/なお)
橋田賞新人賞	松本 若菜	(俳優/まつもと わかな)
生誕100年特別賞	石井ふく子	(プロデューサー/いしい ふくこ)
生誕100年特別賞	連続テレビ小説	(NHK)
野村昭子賞	草村 礼子	(俳優/くさむら れいこ)

2. 脚本家、演出家、俳優等の人材育成(2号事業/3,728千円)

脚本家、演出家、俳優等の人材育成については、本年度は以下のような事業を実施した。

(1) 令和6年度橋田賞新人脚本賞の公募

一時間ドラマ部門は応募作品総数457篇、短編部門は応募作品総数428篇で当財団選考委員による第二次審査が行われ、一時間ドラマ部門の佳作2編と短編ドラマ部門の入選作3篇に対し、「令和6年度橋田賞新人脚本賞」として顕彰することとし、正賞として時計、副賞として賞金各200千円の助成を実施した。

一時間ドラマ部門	佳作	『シニアの居場所』	松山 富江
		『遠くから来た客』	今泉 紗弥

短編部門	入選作	『おまけ』	日比谷 祐希
		『よいおとしを』	青山 ユキ
		『素直になれなくて』	不動 里美

3. セミナーおよびシンポジウムの開催（3号事業／15,480千円）

本年度は以下のような事業を実施した

（1）「オンラインセミナー」の開催

- ・石井ふく子プロデューサーがゲストと語る
「テレビドラマ今昔物語り うらばなし」 ゲスト中田喜子
- ・朝ドラ『らんまん』を語る ゲスト：NHKプロデューサー 松川博敬 聞きて：
日本大学芸術学部放送学科教授 中町綾子
- ・石井ふく子プロデューサーがゲストと語る
「テレビドラマ今昔物語り うらばなし」 ゲスト竹下景子
- ・追悼・山田太一 作風と素顔そして家族 放送評論家・鈴木嘉一と山田太一次女・長谷川佐江子が語る、山田の作風と素顔そして家族。

（2）ベテランアナウンサー山根基世氏（財団評議員）による橋田壽賀子作品の朗読を Podcast にて配信すると同時に YouTube でもセリフ映像付きで公開。

- ・「渡る世間は鬼ばかり」第1シリーズの第13話から第21話までを配信中。

（3）新人脚本賞佳作「嘘つきリーさん」アクトーズチェック 角野卓三ほか豪華出演者が読み合わせる”本読み”の様子を YouTube にて配信

4. 顕彰対象作品の上映会の開催（4号事業／0円）

顕彰対象作品の上映会の開催については著作権のクリアが難しいため見送った。

5. 「橋田壽賀子生誕100年記念」特別展の実施（一般財源事業）

3月20日から4月13日まで愛媛県今治市のイオンモール今治新都市にて「橋田壽賀子生誕100年記念」特別展を実施した。えなりかずき氏と小林綾子氏、石井ふく子氏によるトークイベントも開催し、総来場者数は約3000人で成功裏のうちに幕を閉じた。